卒業論文

福岡市の「地域猫活動」の変遷から見る動物愛護と共生

2014 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2018 年 1 月提出

要約

本論文は行政とボランティア団体への聞き取り調査によって、福岡市の地域猫活動が 9 年前と比べてどの程度進歩しているのかを明らかにすることを目的としている。その上で行政とボランティア団体の考え方の違いなどについて記述し、福岡市の地域猫活動の良い点と課題についてまとめている。

行政に関しては、9 年前と比較して現在は地域猫活動の枠組みを作り上げており、より良い活動となるように適宜改善していこうと努力している姿勢が見られた。1 年という期限はあるものの手術費を全額補助するようになったことは地域猫活動が広まるうえで重要な役割を果たした。

ボランティア団体に関しては、比較を行うことができたのが TNR 博多ねこのみではあるが、行政と同様活動自体が行いやすくなっていることが分かった。会員数の管理を徹底するようになったことで、不測の事態が起こった場合にも対処しやすくなっていると考えられる。TNR 博多ねこは、餌やりを行っている人の心の拠り所として機能していることが明らかになったが、こうした団体は全国的に見ても珍しいように思われた。餌やりを推奨しているわけではないが、餌やりを行っている人の心情を考え、猫を嫌悪している人のことも考えつつ活動している理想的な団体であると感じられた。ライフリレーネットワークは行政にできないことを補完する団体として活動しており、人数は少ないものの実践的な取り組みをいくつも行っている。この団体は地域猫活動を今後行いたい団体にとって手本となる団体だと感じた。

次にボランティア団体と行政の関係性について、両者が目指しているゴールはほぼ一致していることが明らかになった。猫を 0 にすることを目標にするのではなく、猫が一定数いて共存できる社会を目指し、そこに猫がいても気にならない社会を作るというのが両者の意見である。この状況は理想的な地域猫活動が行われれば達成できるものであるが、地域猫活動自体がうまくいっていない地域もあり現実は少し厳しいのではないかと感じられた。また、両者に聞き取り調査を行った際に猫と人との共生という点の捉え方に僅かに差が見られた。行政は、人がより良く生活できることに重点を置いておりそのために地域猫活動があると考えている。しかし、ボランティア団体の人は猫も人も同等の立場でとらえており、餌やりを行う人も地域の人も野良猫も全てが大切で優先順位はつけていないように感じられた。このように考え方に多少の違いはあるものの、両者は昔から信頼関係があるため、良好な関係を築けていることが分かった。また、両者に共通していた主張が 2 点あった。1 つ

は、猫の問題といっても突き詰めていくと人間の問題になってくるという話で、餌やりの原因がただ猫好きということだけでなく、地域での孤独感を紛らわすために行っている人もいることを考えなければならないということだ。もう 1 つは、地域猫活動を誤解している人が増えているということだ。地域猫活動を動物愛護のためだけの活動で、自分には関係ないとしている人が多いが、実際には猫が好きか嫌いかに関係なく地域の問題を解決するための方法なのだということを人々に広げていく必要があるということである。

調査を行う中で見えてきた福岡市の地域猫活動に関連する良い点は「地域猫活動を始める前に行政が住民と一緒に地域の状況を確認するようになったこと」「活動そのものには否定的な意見が少ないこと」「手術代を全国で初めて全額補助していること」「センターから引き取られる犬・猫がすべて手術済みであること」の 4 点である。特に手術費が全額補助されることやセンターから引き取られる犬・猫がすべて手術済みであることは全国的にも珍しい取り組みであることが分かった。これらの取り組みは、猫による苦情や問題を減らしていく上で大きな役割を果たしている。今後の課題としては「広報が不足していること」「傍観者が増えている」の 2 点である。特に広報面に関しては、地域猫活動を知っているかどうかで猫による被害への意識が異なることが明らかになっているので、早急に解決しなければならない問題である。これらの問題を解決するために、学校での出前授業や都心部での動物愛護イベントで地域猫活動の知識を広めていくことなどを提案して本論文を締めくくっている。

目次

はじめに 1

1　地域猫活動について 3

1.1　地域猫活動とは 3

1.2　地域猫活動に関する先行研究 4

2　日本の殺処分の現状 7

2.1　全国の殺処分の状況 7

2.2　福岡県の殺処分の状況 9

2.3　福岡市の殺処分の状況 11

3　福岡市の地域猫活動について 14

3.1　地域猫活動に関するアンケート調査 14

3.1.1　ペットに関する市民意識調査報告書 14

3.1.2　地域猫活動地域のアンケート調査結果概要 15

3.2　福岡市内のボランティア団体 17

3.2.1　5つの団体について 17

3.2.2　ライフリレーネットワーク 22

3.2.3　TNR 博多ねこ 24

3.2.4　ライフリレーネットワークと TNR 博多ねこの比較 25

3.3　行政による支援について 27

3.3.1　過去の状況 27

3.3.2　現在の状況 27

3.4　ボランティア団体と行政の関係性 33

4　動物愛護イベントについて 36

4.1　わんにゃんよかイベント 36

4.2　犬猫よろず相談 37

4.3　共に生きようプロジェクト..... 37

5　まとめと考察 39

おわりに 45

参考文献 46

付録 48

謝辞 66